

第5期（平成27・28年度）

北方町ワイガヤ議会 報告書

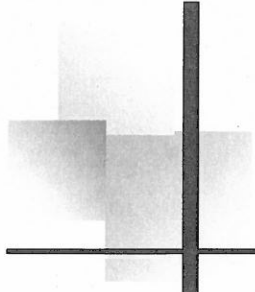
平成28年12月

北方町

目次

グループからの報告

グループ1	2
グループ2	8
グループ3	16
グループ4	24



グループ1

リーダー 高井 雅世
木野村 哲治
神谷 悦男
松岡 恵
翠 誠治

北方町ワイガヤ議会(政策審議会) グループ1協議 最終報告

はじめに

私たちグループ1では、「暮らしやすさ、住みやすさとは」について次の5つのテーマを協議してきました。

1. 子どもの暮らしやすさ
2. 子育て世代の暮らしやすさ
3. 高齢者の暮らしやすさ
4. 人づくり
5. 地域づくり

これらのテーマを協議していくうちに、次世代を担う子どもたちへの支援を進めていくことが結果的に高齢者の暮らしやすさにつながり、人づくり、地域づくりを担っていくことになるのではないかという考えに至っていきました。委員が関わる子どもの中には、食事をまともに取れず、学習の理解も進まぬままに学校に通う子ども達があります。自分たちの置かれている環境を特別意識していないのかもしれませんが、このような子どもが、自分の力でより生きる力を育めるよう、いかに支援していけばよいのかを模索しながら、「1、子どものくらしやすさ」と「2、子育て世代の暮らしやすさ」のテーマを中心に話し合いを進めてきました。

2年間にわたり、協議してきた内容をまとめましたので発表します。

◆ 活動報告 ◆

- ・グループ協議
- ・学習支援活動先の視察「NPO法人 チュラサンガ」岐阜市寺田
- ・適応指導教室「大空」指導員の大江さんよりお話を聞く

◆ 1. 子どもの暮らしやすさ ◆

- ・地域で経済的に困窮している子どもたちに対して、生活支援や学習支援をすることができないか。サマースクールのように元教員等が学習支援などをするといいのではないか。
- ・校長先生によって、学校方針・運営が変わってしまうのは、学校が荒れたりする危険があるので非常に問題。
- ・今の先生は、昔と比べて雑用や部活動などに、時間を取られてしまい大変そう。

- ・教育が遅れた人がいることに対して、学校はどう対処しているのか。また、どのような授業をしているのか見てみたい。
- ・社会のルールを守る支援や活動ができるとよい。
- ・今の子ども達は、豊かになりすぎて不便な経験があまりなく、便利が当たり前になっている。
- ・相対的に不登校の子が増えている印象。
- ・遊びを知らない教師が多くなってきた。教師自身の教育や遊ぶ経験も必要なのでは。先生と遊ぶことを子どもが経験すると、学校を欠席しなくなる。
- ・学習支援をしている現場を見学に行ったらどうか。
- ・適応指導教室「大空」の先生のお話を聞きたい。北方町における、不登校児の現状を知りたい。

～NPO法人チュラサンガ(岐阜市寺田)を視察～

岐阜市には、一般社団法人ぎふ学習支援ネットワークが存在し、学習支援・就労支援など幅広く活動している。

1年半くらい前から活動しており、毎週土曜日9時～12時まで(学習支援)

各自で学校の宿題をしたり、用意してもらったドリルをする。

それぞれが自分のペースで、勉強を進める。



NPO法人 チュラサンガ 学習支援の様子

～適応指導教室「大空」指導員 大江さんを迎えて～

この教室は、10年前から町立図書館の2階に開設している。

現在は、小中学生あわせて6人が通っている。

ナイーブな子で、友達とのやりとりで傷つきやすい子が多い。小学校の時は、保健

室や図書室にいて、中学生になってから不登校になる子もいる。

気のあわない子とのトラブルが引き金になったり、プレッシャーに押しつぶされてしまう場合もある。人との付き合いが、苦手な子・まじめな子もいる。

いじめ・・・子どもの感じ方受け止め方で全然違う。親には言えず、また知られたくない。自分で、いじめられていることを認めたくなく精神的に耐えられない。

この教室へ来る多くの子は、「自分が不登校だと言われたくない」「学校の友達が挨拶してきたり、話しかけてきても緊張して答られない」「適応指導教室 大空に通っていることを誰にも知られたくない」と思っている。

不登校の原因がはっきりしていないのに、親のしつけが悪いのではないかと周りの人から言われたりする。両親や教師など、おとなへの人間不信が原因の一つになったりすることもある。

心が疲れていて、人の目を気にしなくてもいい夜にゲームをしてゲーム中毒になり昼夜逆転し、学校に行けなくなることもある。

担任が親の気持ちに配慮したり、親が担任に協力的になったりするなど、子どものためにいい関係を築いていくことが大切⇒担任の先生の対応も重要であると考える。

この教室に行ける子は、まだいい方で家から出られない子もいる。

この教室では、自分がやってみたいことをできるだけじぶんで決めて取り組ませて、エネルギー(学校に通う、規則正しい生活をする)を貯めることを心がけて指導している。

相対的には、不登校の子が増えている印象

義務教育を卒業した後の受け皿がないことも一つの大きな課題である

◆ 2. 子育て世代の暮らしやすさ ◆

- ・北方町ファミリー・サポート・センターが開設され、会員数は60人前後(8月末現在)。
- ・送迎、託児など、特に夏休みの8月は利用者が多い。
- ・サマースクール、キタガタ サタデー スクール(隔週土曜日)
- ・学校と地域との繋がりが、薄いのではないか。特に南小のある地域は転入者が多く、自治会や周辺住民との関係が他の地域と比べると希薄であるように感じる。
- ・子ども110番の家の利用状況は、現在どうなっているのか。
- ・社会のルールを守る支援や活動ができるといい。
- ・空き家を利用し、学習支援を行ってはどうか。
- ・貧困の家庭の親にもプライドがあり、こども食堂へ行かせないこともある

◆ 3. 提 案 ◆

これまでに協議した内容をもとに、次の3つを提案します。

●その1 子どもの食生活と学びの場の提供について

1-① 食事支援先情報の配布を提案します

学校から子どもを通じて家庭通信という形で、親にフードバンクについての情報を提供していく。家庭から直接支援先に連絡することで、公にならず支援を受けられる。

1-② 子どもの食堂と学習を組み合わせた学習支援を提案します

子どもだけで食事をする機会を減らし、親以外の大人との関わりを経験する。支援者と食事を一緒にすることで料理の仕方を学ぶ。料理が出来上がるまでの待ち時間に学習会を行い、待ち時間の使い方を学ぶ。食事はみんなで一緒に食べ、一緒に片づけ、各自が役割を持って取り組む環境を作る。

●その2 元教師との協議会開催を提案します。

教師の目から見た学習支援の方法について助言や協力を得る。
地域住民の眼から見た取り組みの提案や意見交換をおこなう。

●その3 バトンリレーテーマを提案します。

各グループで類似した協議されていることがある。この問題は共通して重要と言えるが、期間内に解決できないまま任期を終えると、取り組みも途中で終わってしまう。

2年間かけて話したテーマをさらに先に進め、北方町をより暮らしやすい街にするため、次期グループに取り組んでもらいたいテーマ(=バトン)としてリレーできる仕組みを作ってほしい。また、ワイガヤ委員卒業後も参加できる活動の場の情報提供を行ってほしい。

以上がグループ1で提案する内容です。是非とも、提案を実現していただき、より北方町が住みやすい街として発展していくことを願います。また、私たち自身もこの2年の協議で学ばせてもらったことを生かせるよう活動の場を見つけ、住みやすい街づくりに協力していきたいと思います。

NPO法人チュラサンガを視察時、配布された資料



会員の募集

〇ぎふ学習支援ネットワークの一員として参加する（社員登録）
社員会費：一口1,000円×3口以上（年間）

〇ぎふ学習支援ネットワークの活動を応援する（サポーター登録）
サポーター会費：一口1,000円以上（年間）

会費・寄付納入先：十六銀行／三田洞支店（108）／普通／1318115
口座名義：一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク

お問い合わせ・連絡先

名称：一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク
事務所：〒502 0812 岐阜市八代3丁目27-8 ふれあいスペース内
電話番号：090-7432-9158（中川）／090-3567-6564（原）
E-mail: gifu.gakushusen@gmail.com

学習支援ネットワークの取り組み

（1）実践交流・学習会

「他の団体はどんな感じで活動してるの？」
「子どもがまったく勉強に向かおうとしない。そんなとき、どうすれば？」
「こういう子どもの行動は、どんなサイン？」
…学習支援ネットワークでは、月1回の実践交流・学習会を実施することで、互いの実践について学び合うとともに、スタッフの力量形成にも寄与できるような機会の提供を考えています。また、岐阜以外の地域で実践している人たちとの交流の機会も設けられればと思っています。

（2）支援スタッフ・支援希望者の紹介・コーディネート

「支援スタッフとして活動に協力したいんだけど、どこに行けばいい？」
「スタッフが足りなくて、ピンチ！」
「どこか通えるところがあるなら、紹介したい子がいるんだけど…」
…個々の団体それぞれでのスタッフ募集・利用者募集も大事ですが、それをネットワーク化し可視化することで、より広い範囲で呼びかけをすることが可能になります。そこで出てきた各種ニーズを集約し、相互のマッチングを行なっています。

（3）各種連携構築・側面支援

「学校との関係がうまくいっていないみたいだけど…」
「通っている子が家出しちゃった！どう対応したらいい？」
「親が失業しちゃって、生活がイッパイイッパイに…」
…「学習支援」をやっているだけでは対応しきれない問題も多々生じてきます。そんなとき、対応可能な諸機関の紹介やつなぎ、あるいは緊急的な支援を実施したりなど、子どもたちの学びの前提となる生活環境の問題に対処していきます。

（4）立ち上げ支援

「うちの地域でも、学習支援を始めてみたいんだけど、どうすればいい？」
「まずは関心ありそうな人たち同士で集まりたいんだけど、その機会がない」
…現状の参加団体は岐阜市周辺に偏っていますが、子どもたちのニーズは各地に散らばっています。できるだけいろいろな地域でこうした活動が展開されていくよう、立ち上げのサポートや準備会・学習会企画なども実施していきたいと思っています。

（5）社会的発信・中長期的な展望の構想

「もっと多くの人に、子どもの貧困について知ってほしい」
「学習支援の活動が「善意のボランティア」頼みの状況を変えていきたい」
…「子どもの貧困」についての現状や支援の取り組みについて、広く市民に伝えていくとともに、それぞれの現場から見えてくる課題をまとめ、社会的に発信・提言していくための母体になるよう活動していきたいと思っています。

地域で子どもを支えるために 子どもの未来は社会の未来

ひとりじゃないんだ

「分かんない」って言うる

ここに居ても
いいんだね

勉強が分かるって楽しい！

ホッとできる場所

将来、夢見ていいんだね



「子どもの貧困」が社会問題になっています。その問題に、私たちはどう向き合っていくべきなのでしょう？貧困問題は、雇用や社会保障、教育費の高さなど、社会構造的な問題をただしていくことが何よりも必要ですが、その一方で、目の前の子どもたちのSOSに応えていくことも喫緊の課題となっています。

私たちは、地域、医療、そして原発事故からの避難家族、あるいは子ども・若者支援など、それぞれの現場から子どもの困難と向き合い、それぞれに「学習支援」の場を誕生させてきました。そして、今度はそれらを横につなぎ、「学習支援」を入り口に、地域から子ども、家族を継続的に支え、孤立させない仕組みをさらに推し進めたいと「ぎふ学習支援ネットワーク」を立ち上げました。

「子どもの貧困」…この課題の解決には、地域の大人たちの温かな眼差しと連帯が欠かせません。子どもたちの現状に心を痛めている皆さん!!子どもたちを支える始めの一步…私たちのネットワークに、ぜひ声をかけてください。

一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク

①てらこや

岐阜キッズな（絆）
支援室

岐阜市神田町6-24
円徳寺内

毎週土曜日 9:30～12:30

Tel 070-5330-1192

wakaoka-aki228@willcom.com

②ポポロ

NPO 法人
仕事工房ポポロ

岐阜市八代
3丁目27番8号

毎週月・水・金曜日

17:00～21:00

Tel 058-337-0701

③スマイル

NPO 法人
スマイル Basket

岐阜市神田町6-24
円徳寺内

毎週火・木 18:00～20:45

Tel 090-3567-6564

④チュラサンガ

NPO 法人
チュラサンガ

岐阜市寺田852番地
円成寺内

毎週土曜日 9:00～12:00

Tel 058-253-9350

⑤学びのサポート さなぎの杜

大野町中央公民館2階
談話室

毎週水曜日 19:30～21:00

Tel 090-1740-7057
usamimin_17@softbank.jp

⑥こもれび

学習支援室こもれび

みどり病院敷地内
わらべ保育所2F

毎週木曜日 17:00～19:30

Tel 058-244-5322

⑦わおん

NPO 法人
コミュニティ
サポートスクエア

岐阜市栗野東5-244
「わおん」内

毎週月曜日 18:00～21:00
毎週土曜日 10:00～12:00

Tel 058-237-1661

⑧安心と自由の 学びの空間 中川塾

岐阜市太郎丸中島147

毎週火～金曜日
16:00～21:40

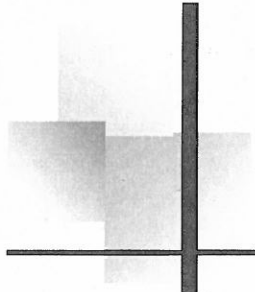
Tel 058-229-1150
Fax 058-229-3315

⑨あしたの 支援室

大垣市綾野公民館

毎週土曜日 13:30～16:00

Tel 090-9027-0132



グループ2

リーダー	橋下	佳世子
	浅井	裕子
	深井	真理
	石川	民香
	後藤	三郎
	西川	凌平

第5期 ワイガヤ議会 報告

グループ2(名簿順): 浅井、橋下、深井、石川、後藤、西川

6月 5日	テーマ検討、子育て支援
(6月23日	リーダー会)
7月11日	子育て支援
8月31日	子育て支援、くらしよいまち(人材活用)
9月28日	地域包括支援センター見学、くらしよいまち
10月18日	子育て支援、くらしよいまち、まとめ

子 育 て 支 援

1. 情報配信システム
2. ファミリーサポート事業
3. 公園の遊具
4. 西小問題

子育て支援

①情報配信システム

提案: メール配信の一体化

背景: 不審者情報などが「学校」、「PTA」に加え「町」からも配信されるようになったが、少しの情報の差異が生じている

対策: 情報自体を教育委員会が詳しく把握し、「町」だけが情報を配信するようにする(一体化)

⇒微妙な差異が生じない
より正確な情報を把握できる

子育て支援

②ファミリーサポート事業

～ファミリーサポート事業とは?～

- ・ 何らかの事情で子供の面倒を見れない方々に向けて相互扶助を施す事業
- ・ 提供会員(育児のお手伝いができる人)は9月時点で42人
小児科医による研修、救命救急などの研修を受けている
- ・ 利用会員(育児のお手伝いを受けたい人)は9月時点で17人
- ・ 子供が提供会員に慣れるようにしてから契約(両者のマッチング)
- ・ 700円/時の料金で預かることが可能

～ファミリーサポート事業の現状～

- ・ 4月の事業開始から7月までは、月10件程度だったが、8月には50件ちかい利用があった。(子供の夏休みというケースが多い)
- ・ 9月も8月に引き続き40件ほどの利用があり、ファミサポが浸透していることがうかがえる

子育て支援 ②ファミリーサポート事業

提案:ポイント制の導入

背景:ファミリーサポートが出来たおかげで子供の長期休暇・夜遅くまで働いている人の負担が軽減した

+α

利用料の授受だけでなく、ファミサポ以外にも利用できるポイント制を導入すると良いのでは

子育て支援 ②ファミリーサポート事業

対策:北方町の暮らしに利用できるポイント制度を導入

⇒特典を付与することで暮らしが便利に!

子育て支援

③公園の遊具

提案: もっと子供が遊べる遊具を増やしてほしい

背景: 公園は多くあるが遊具がどんどん撤去されて
しまい楽しく遊べない

また、ボール使用禁止の小さい公園もあり
わかりにくい

対策: 遊具は設置する基準が近年厳しくなり難しい
せめて、ボールを使用できる公園を町民に
分かるように広く告知してほしい

子育て支援

④西小問題

提案: 校外活動を積極的に実施する

背景: I. 西小ではバス・電車を使って校外活動する
機会が極めて少ない

⇒ 少人数のためバス等を頼むと割高に
旅行積み立てを廃止してしまった

II. 以前までは校外での縦割り活動があったが
「引率する先生が少ない」という理由から
校内での活動に縮小されてしまった

他校との格差が生じてしまうのではないか

子育て支援

④西小問題

対策：Ⅰ 校外活動を北小・西小合同で行う



- ・学校間の教育の格差が生じなくなる
- ・バスなども手配しやすくなる
- ・活動費用も北小・西小の合算額で可能になる
- ・北小・南小の児童と同じような経験を！

Ⅱ 縦割り活動の復活



校外での活動の再開を求める声が多い
ので何とかしてまた実施してほしい

②くらしよいまち

ー 地域の交流について ー

- ・「井戸端会議」ができるような場所が必要(カフェ、クラブ等)
- ・隣近所、自治会内、町内等で人が多く集まり交流する機会が必要
(防災訓練、町内清掃、河川美化運動等)
- ・必要な案内(防災訓練など)は全世帯に配布(回覧ではなく)すると良い。
- ・幼稚園、小中学校との連携は効果的だと思われる。子供が参加すれば親も参加する。
- ・いろいろな世代の人の意見、いろいろな生活環境の人の意見を聞く。
ご近所とのお付き合いは煩わしいだけか？
(自治会が出来た当初、地域住民との交流が多くあった。今は世代が変わり交流が希薄になってきた。同世代どうしでの交流は？)

(課題)

- ・自治会未加入世帯に対する対応。(自治会加入のメリット？無関心)
- ・コミュニティから洩れてしまっている状態の人の対応。(地域支援が必要？
地域包括支援センターで対応？)
- ・住民票を移していない人。(北方町民になる事の魅力？)

②くらしよいまち

—シルバー世代の人材活用について—

- ・北方町内のシルバー世代の「人材データベース」ができれば有用である。
- ・北方町をシルバー人材活用のモデル地区として、国等から補助金を受けてデータベースを作れないだろうか。
- ・小中学校で、シルバー世代による特別ゼミの企画はどうか。「企業って何をやっているの?」「税金の仕組み、使われ方」「株のしくみ」など。
- ・シルバー人材センターとうまく連携出来ないか。
町のホームページに会員募集の案内を載せるなどの協力をしてもらい団塊世代の力の活用を図る。
(但し、北方町シルバー人材センターでは、企業の中高年雇用促進で登録者の減少高齢化が進み、受けられる仕事が減ってきているのが現状)
- ・個々人の人材データをどのように集めるか、集められるか、登録したくなるような仕組み作りが重要。

②くらしよいまち

— 地域の支援について —

- ・ 地域包括支援センター見学
地域包括支援センター経緯、現状、事業内容、課題等の説明を受けた。
現在は高齢者支援が中心。介護、健康に関する事、権利を守ること、各種相談、一人暮らしの高齢者の見守りなどさまざまな高齢者支援を行っている。認知症カフェ開催、利用者へのアンケート、子供との交流等も実施。
――> * 一人暮らしの高齢者宅への訪問を町内全域で実施されているとの事で、安心、感心した。
* 現在は介護が中心だが、今後は看護、医療との連携が必要と思われる。
* 現在は高齢者が対象だが、今後は全世代の支援センターとしての役割が必要と思われる。
* 障害者支援センターの役割も何らかの形で必要と思われる。
* 支援センターの役割が広範囲になって来たとき、町を超えた広域での支援体制が必要?

②くらしよいまち(中間報告分再掲)

－ 障がい者や交通弱者も容易に行動できるまちづくり －

知的障害をもった人やその家族、車椅子や自転車を移動手段にする人が、気軽に外出し余暇を過ごす場所がない。また、そういった人が町内主要施設にアクセスする手段があまりない。

・＜対策案＞

徒歩、自転車、車椅子専用の安全な周遊道路(サイクリング、ウォーキングロード)が必要。公共施設や商業施設を周遊道路で結び、車が無くても生活が出来る、優しい町を実現する。既存のウォーキングコースを活用し、新庁舎、円鏡寺、天王川、タベが池、体育館、清流平和公園、糸貫川等の主な施設を結ぶ道路を整備して戴きたい。

・＜進捗＞

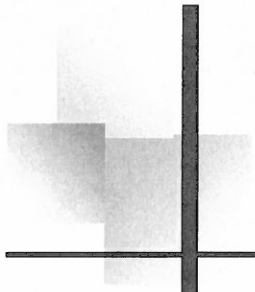
歩道の整備計画について
天王側沿い(県)及び南保育所～ふれあい水センター間(町)の予定あり。

――>途中の切れ目が障壁となるので、周遊道路として完成するよう引き続きお願いしたい。

②くらしよいまち

－地域活性化アイデアー

- ・ワイガヤ議会の若者版のようなもの、若者目線で自分たちのやりたい事、楽しい事を提案し実行する仕組みは出来ないか。
- ・こどもサミットの日の活動と地域の住民との連携推進。
- ・北方町は仏壇店が多いと思われるが、仏壇製造の工場見学などの産業観光推進。(伝統産業)
- ・北方町の歴史的建造物、景観は残っていないか、生かさないか。
- ・円鏡寺を中心とした北方町観光ルートを作り、併せて町の観光ボランティアを育成し、観光ガイドを行う。(本巢広域?)
- ・北方町のブランド作り、発掘。



グループ3

リーダー	古野	裕美子
	市橋	千尋
	山田	容子
	駒月	麻由美
	長瀬	留美
	石井	久美子
	佐藤	知穂

第7回 ワイガヤ会議最終報告

グループ3

古野 裕美子 (リーダー)

市橋 千尋 さん

山田 容子 さん

石井 久美子 さん

駒月 麻由美 さん

佐藤 知穂 さん

長瀬 留美 さん

発表内容

- 旧庁舎の活用提案
- 広報きたがたについての提案
- 学校関係の提案
- その他

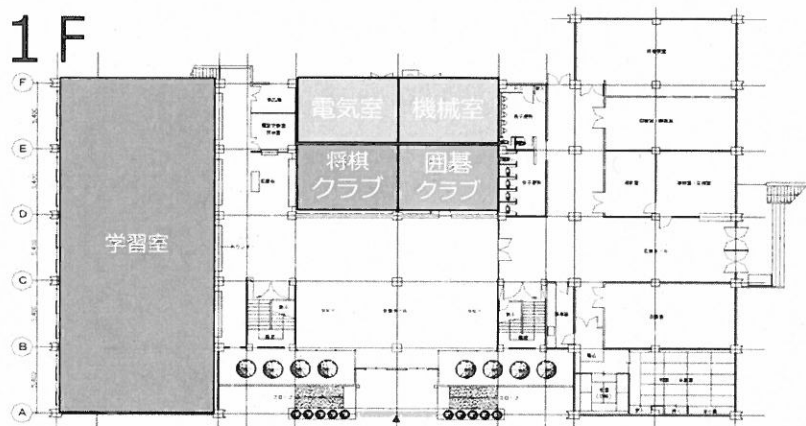
1. 旧庁舎の活用について

活用する場合

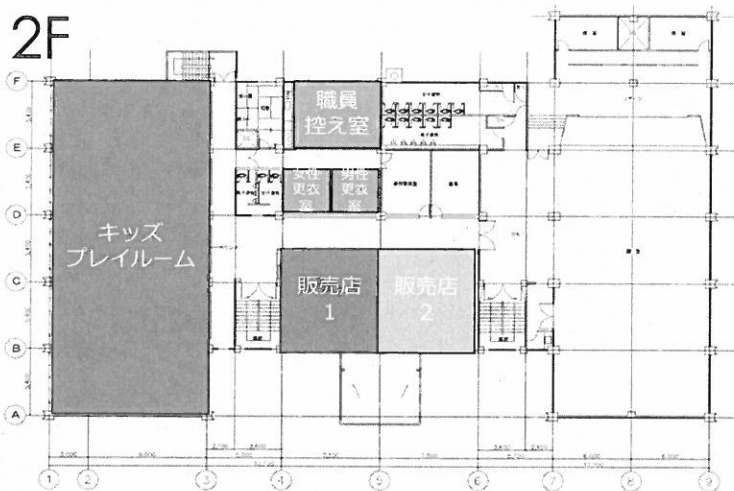
提案コンセプト：目的に応じた多世代交流の場

- 趣味の交流クラブ
- 子ども達が屋内で走ったり運動できる施設
- 有志出店
- アフタースクール活動
- 学習室

旧庁舎跡地の利用例

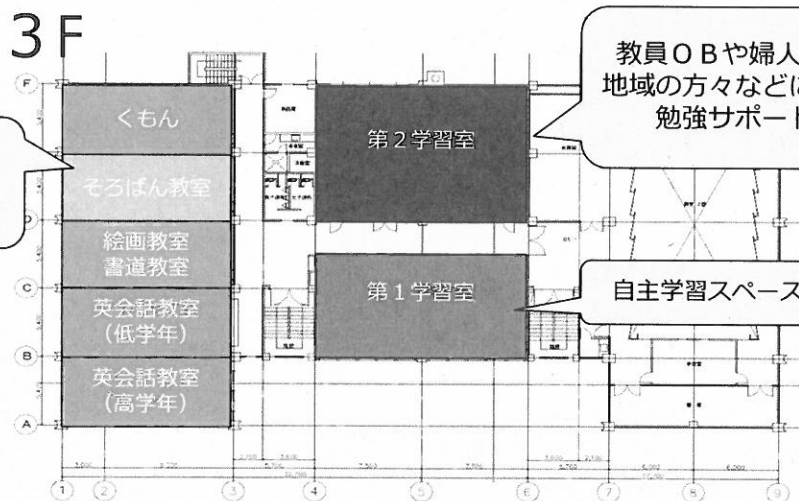


- 子どもが屋内で走ったり運動できる施設
- 有志出店



- アフタースクール活動
- 学習室

学童保育の子供が
習い事をする
機会をもてる



教員OBや婦人会、
地域の方々などによる
勉強サポート

自主学习スペース

旧庁舎を活用しない場合の問題点

1. 各種団体の活動場所が不足する

新庁舎・きらりホールなど

⇒有料施設の為、予算の問題発生

⇒団体数は変わらないため、活動状況に影響が出る

2. 施設は月曜日休みが多い

図書館・きらりホール・総合体育館・子ども館・婦人の家・青少年ホーム

⇒月曜日に子供が行くところがない

⇒働く親は月曜日の対応に困っている

提案①

西小の空き教室を利用する

利点

- ・学校も地域も活性化される
- ・学校支援ボランティアの広がり

現状

名目上の空き教室はないが、教室の使用状況を見る限り調整により利用可能になる教室はありそう。

提案②

北小・西小・南小の多目的室を利用する

利点

- ・セキュリティがついている
- ・アフタースクールも可能である
- ・広くて、冷暖房もある

実施するには

条例の作成が必要 (他自治体の実績あり)



町の方針による

2. 広報きたがたについて

学校紹介コーナーを創設



学校の情報を発信する

(例) 各小学校の便りをのせる



コミュニティスクールの活動紹介

⇒活動そのものが認知されていない

3. 学校関係の提案（その1）

2学期も水泳授業
したいよ

夏休み練習
したのに

9月はまだ
暑いよー

ラジオ体操
少ないよね...

7月でもう
ラジオ体操
終わったよ

朝ゆっくり
寝てよっ

問題点

2学期に水泳授業がない
（運動会準備）

提案

夏休みのスタートを1週間早める
（クーラー完備により）

問題点

ラジオ体操の開催日数が少ない
（規則正しい生活）

提案

子どもが参加したくなるような付
加価値をつけて活性化を図る

3. 学校関係の提案（その2）

セキュリティの問題

保護者の名札の
意味がない！

誰もチェック
していないし～

誰でも作れちゃう

防犯カメラもないし

問題点

小学校・保育園とも
保護者の名札が簡易

提案

・写真つき保護者証明の発行

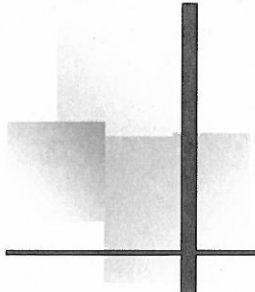


4. その他

- ・ 町民運動会の景品を 北方町のごみ袋に
- ・ ワイガヤ会議の今後の課題



ご清聴ありがとうございました



グループ4

リーダー	田中	千鶴
	佐野	和美
	町	秀美
	福富	ますみ
	有田	有香
	渡辺	幸子

ワイガヤ議会(北方町政策審議会)

グループ4協議 最終報告

＜グループ4メンバー＞ リーダー 田中 千鶴
町 秀美
福富 ますみ
有田 有香
渡辺 幸子
佐野 和美

＜グループ協議＞ 6月 5日(日) 全体会・第一回会議
7月11日(月) 第二回会議
8月24日(水) 第三回会議
9月21日(水) 第四回会議、給食センター見学
10月19日(水) 第五回会議、まとめ

はじめに

私たちグループ4は子育て中の母親が集まったグループです。主に学校関係や子どもに関わる事について協議をしました。

第四回目には、北方町給食センターと本巢市の給食センター、町内小中学校4校のパントリー室を見学しましたので報告いたします。

①町内3小学校の設備や学習内容について

・西小学校の体育館は数か所広い範囲で雨漏りしています。暗幕は破れていて使えず、天井がはがれている箇所があり危険。早急に点検・修繕をお願いします。

南小学校の体育館は風通しの窓に網戸までついているのに、西小学校の体育館は出入りに格子戸すらない。

→設備、備品について違いが大きい。なぜこのような格差があるのか？

- ・宿泊研修で、体験学習をせずに宿泊先でドリル学習を行う
- ・修学旅行で、おやつ・小遣いの金額が学校によって違う
- ・修学旅行の班別行動時、タクシー利用や、学校から配られた iPad を使用する

・6年生の社会見学がない小学校がある

など、学校によって差があります。

同じ町内で育つ子どもたちですが、住んでいる区域によってそれぞれの小学校へ入学します。選んで入学できるわけではありません。入った小学校によって経験に差が出るのでは不公平に感じます。

各学校内で、研修内容などは決められると聞いていますが、町内3小学校、同じように学べるのが理想ではないでしょうか？

②小学校下校後のグラウンド開放について

・町内の公園で、ボール遊び等で制限があるため、子どもがのびのびと遊べる場が縮小されていると感じています。下校後～お帰りチャイムまで、学校のグラウンドで遊べるように開放してほしいです。

③中学校の自転車通学について

・北方中学校では駐輪場のスペースがないため自転車通学を認めない、と学校より説明を受けていますが、放課後の部活動を終えた生徒が帰宅する時間帯の通学路は暗く、心配する保護者の声が多数あります。

通学距離が遠い、帰宅が遅くなる部活動に入部しているなど、自転車通学を許可できないのでしょうか？

駐輪場スペースについては、プール北西にある先生方の駐車場を駐輪場にし、先生方の駐車場は旧庁舎駐車場へすれば確保できると思います。

④施設見学・給食センターと各小中学校のパントリー室について

・見学順

北方町給食調理場→本巢市給食センター→北方小学校→北方中学校→
北方西小学校→北方南小学校

午前9時30分北方町役場を出発🚗

北方町給食調理場到着後、調理場の石崎係長より調理場の概要について説明を受ける。

北方町給食調理場

- ・昭和54年3月竣工(建設から37年経過し老朽化が進んでいる)
- ・調理能力……一日4000食
- ・調理場見学……研修室の小窓より、調理場内の様子を見学するが、小窓からは調理場全体は見渡せない
- ・床の状態……ウェットシステム→床に水を撒くため、常に床が濡れている
- ・空調……調理場内に冷暖房の設備がないため、スポットクーラーと扇風機のみで、夏は暑く、冬は寒い。夏は室内温度が40℃になる場合があるため、衛生状態に特に注意が必要。また調理員も脱水症状にならないように注意が必要
- ・施設が古いため、区域ごとに区分されていない
→現在の衛生管理基準をみたしていない

本巣市給食センターへ移動🚗

センター到着後、五井所長から挨拶、栄養教諭の村山先生よりセンターの概要について説明を受ける。

本巣市給食センター

- ・平成20年3月竣工
- ・調理能力……一日5500食
- ・総事業費……13億円を超える
- ・配送範囲……旧の糸貫町・真正町・本巣町の幼・保・小・中学校(岐阜市西秋沢の岐阜本巣特別支援学校を含む)
※根尾村については遠距離のため、根尾に給食センターがある
- ・調理場見学……施設二階の廊下から一階の調理場の様子を見学できるようになっている
- ・床の状態……ドライシステム→床がいつも乾燥していて厨房内の湿度が低く細菌の繁殖を抑える。床面に水がないため跳ね水による污染がない
- ・空調……学校給食衛生管理基準により「汚染作業区域」「非汚染作業区域」・「その他の区域」と部屋単位で区分されており、区域ごとにコンピュータで室温が設定されている

北方町より施設の状況はかなり整っている

北方小学校へ移動🚗

パントリー室に到着した時ちょうど北方町給食調理場から配送車で給食が運ばれてきて調理場職員がコンテナで給食を運び給食(汁物)の温度をチェックしている様子を見ることができた。牛乳は先に届いていた。

届いた給食は、用務員さんが一人で各クラス別に分けていた。

その後、北方中学校→北方西小学校→北方南小学校の順にパントリー室を見学。

各校のパントリー室について、学校担当の薬剤師の先生方の話し合いで、エアコンを設置してほしい、窓があっても網戸がないため虫が入ってくるため窓が開けられない、などパントリー室の設備を統一してほしいという意見がありました。

北方町給食調理場と本巣市給食センターを見学して、設備の違いを明らかに知ることができました。

現在と同様規模の調理場を建設するとなると10億円以上はかかるものと聞いていますが、現在の衛生管理基準をみたしていない、調理場の空調が管理されていない中での調理は衛生面でも、調理場内で働く調理員さんにとっても、常に危険と隣り合わせであるということを重く受け止めていただき、今後どのようにしていくのか、町民に示してほしいです。

⑤その他・・・公民館について

・鍵の管理について、22時にシルバーさんが閉めに来るまで開いたままになっていて、常駐する人がいないので、不用心ではないですか？

・旧庁舎の活用について、話が止まっていると聞いています。

平成22年に耐震工事もされ、現在も公民館として各団体の利用が多いですが、クーラーがつかない、壊れた扇風機が置いてある、ホワイトボードの足が外れていてガムテープで固定されている、など、あちこち不便になっています。設備を整えていただきたいです。